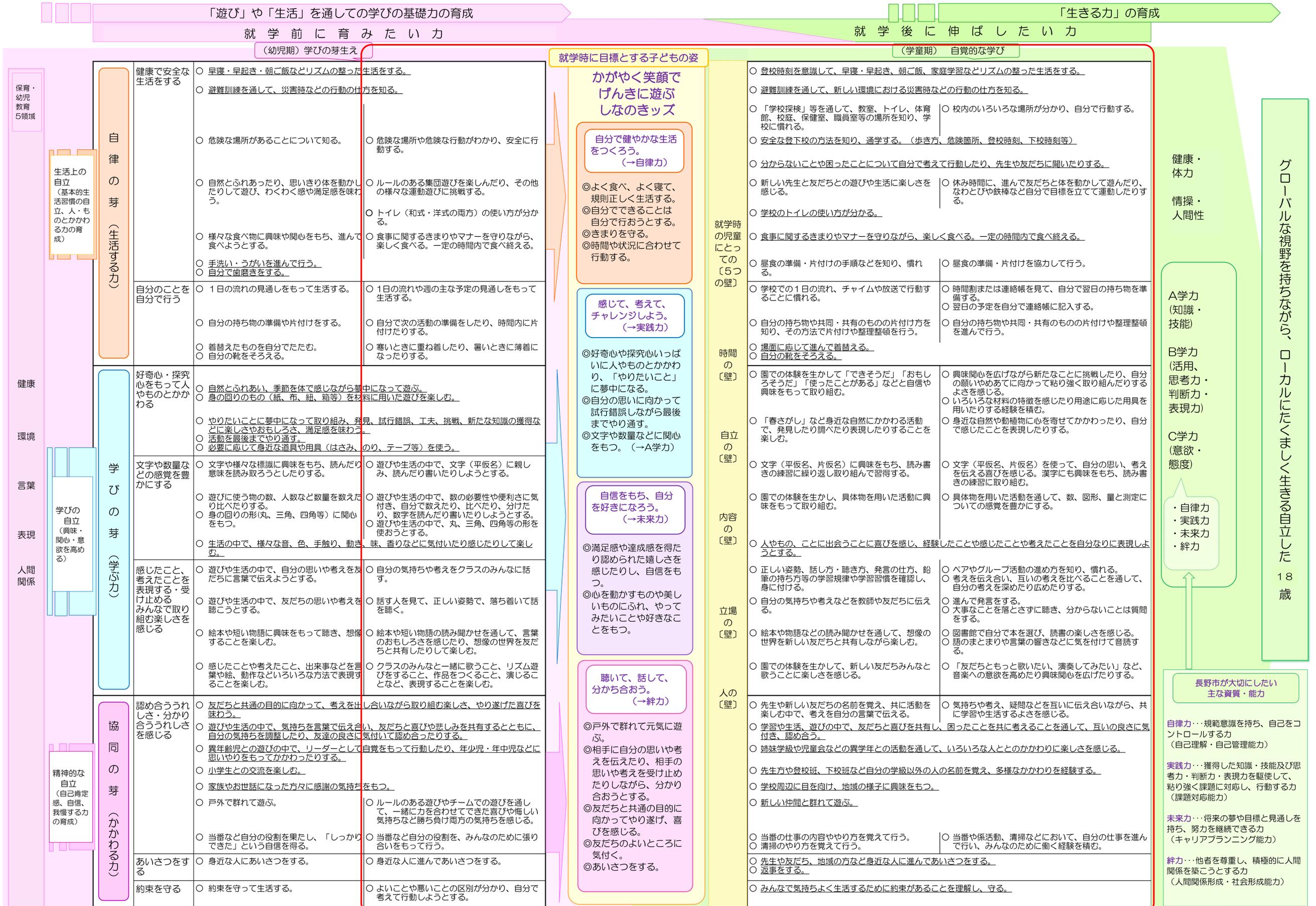


子どもの「育ちをつなぐ」ために幼保小で共有したい3つの【観】：「子ども観」（子どもは「自ら育っていくとする存在」）・「遊び・学び観」（「自己決定」に基づく「試行錯誤」による「自己実現」）・「支援観」（「そこにいる」「信じて待つ」「関心を寄せて見守る」という支援）  
就学時の児童にとっての5つの「壁」をなくそうとするのではなく、教師が「壁」を意識して、子どもが「壁」を乗り越えていく可能性の芽を引き出す支援、「壁」を成長のチャンスと捉えた支援に努めましょう。



グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した18歳

長野市が大切にしたい  
主な資質・能力

- 自律力…規範意識を持ち、自己をコントロールする力（自己理解・自己管理能力）
- 実践力…獲得した知識・技能及び思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し、行動する力（課題対応能力）
- 未来力…将来の夢や目標と見通しを持ち、努力を継続できる力（キャリアプランニング能力）
- 絆力…他者を尊重し、積極的に人間関係を築こうとする力（人間関係形成・社会形成能力）

\* 赤枠内について…近隣の幼稚園・保育所・小学校において、接続期カリキュラム（アプローチ・スタートカリキュラム）を作成し、相互理解を図りながら枠内の力を育てています。\* 下線部について…年長時のはじめから、または、就学時から育み身につくようにしたい力を示しています。